

第18回自治会館建設委員会議事録

日 時 2019年7月12日(金)17時30分～19時20分

場 所 つくし野コミュニティーセンター第1会議室

1 第17回委員会以降の経過について

特になし

2 中村委員からの情報提供

テレビである地域の小学校プールの授業をスイミングスクールで実施しプールを廃止しているところがあるとの報道があった。つくし野はどうかかわからないが、プールを廃止するのであればその跡地に「自治会館」を建設できれば4丁目などは近くなるのではないか。つくし野小学校はどうか市役所に聞いてみたい。

3 事業計画(案)作成について

(1)自治会館の利用の見通しについて—友井委員検討(案)—提出文章あり

- ・「自治会館」を利用する団体は現在つくし野センター利用団体が主になることは疑いようがない。
- ・そのほかに利用が考えられるのは、高齢者支援施設の地域拠点としての利用とつくし野センターを利用していない団体である。
- ・つくし野センター利用団体については、広い面積のホールや音楽室利用者は自治会館にその面積、機能がないので利用しないと考える。
- ・自治会館と同様の面積の第1、第2会議室、和室の利用者が自治会館を利用すると考えられる。
- ・この3部屋の年間利用回数は、約1900回で、年間100%利用が3240回であるから利用率は平均で60%であり利用に余裕がある。
- ・この1900回のうちのどのくらいが自治会館を利用するかを検討すると、便利で利用に余裕のあるセンターから移ってくるのはせいぜい10%ぐらいではないか。10%は190回。
- ・このほかに高齢者支援施設の利用とセンターを利用していない団体利用を100回する。
- ・合計で年間290回の利用になる。利用料金を第1、第2会議室、和室の平均の700円より低い600円と設定すると、290回×600円で174,000円が年間収入になる。
- ・支出は、人件費を0円として、光熱水費20万から30万円、事務費10万円、施設維持費20万円、建替費用積立60万円(50年後建替、補助金1500万円想定)で、年間合計110万円。
- ・収支差額はマイナス約90万円となる。
- ・自治会に説明する場合にメリットだけでなく、赤字などデメリットも説明するのが建設委員会の義務だと思う。それでもデメリットを上回る利用目的、必要性があると自治会が認めて総会で承認するのであれば建設することになる。

(2)代谷委員対案(提出文章のまま掲載)

ア 全体論

- ・赤字論から討議に入ると、利用率・回数や利用料が未定推測の域ですから、負の堂々巡りになる。
- ・ふれあいや自治会を説得するには、無駄な支出になるのではという悲観論・旧守感を想定させるよりも、「こういう施設なら利用したい」という夢やワクワク感を前面に出したほうがいい。
- ・それには建設委自体から、「こうあったら人が呼べそう」「それをやるにはどうすればいいか、何が問題か」を具体的に発案・実現化していく議論に時間を割くべき。